

令和6年度 事業計画



「Be Global!」をコンセプトに、1歳児～5歳児の乳幼児を対象とした乳幼児教育を行っています。



御影インターナショナルこども園は、開園から10年を迎えた認可外保育施設です。これからのグローバルな世界で、世界共通語である英語の役割はますます大きくなります。そのため、御影インターナショナルこども園では、未来を背負う子どもたちのために、日常生活をネイティブの外国人教師と一緒に過ごし、身近に英語を感じながら幅広い視野を育んで参ります。

「日本人としてのアイデンティティを身につけ、世界中の人たちと友だちになれる人材を育てます」という教育保育指針のもと、特色あるプログラムを用意しています。「日本語も英語も私たちのことば!」というキャッチフレーズで、両方が飛び交う生活を送っています。園生活では単に英語のレッスンだけでなく、子どもたちの好奇心や探求心を満足させる楽しい時間となっており、子どもは驚くほど英語を吸収しています。幼児期に異文化に触れることはとても大きな意味を持ちます。世界を知り、広い感覚を持ち、世界中の人々とのつながることによって「平和」についても心を寄せることができる豊かな心を育んで参ります。

昨年度から新しい試みとして、一人ひとりの発達を大切に、子どもを自立に導くモンテッソーリ教育を試験的に5歳児に導入しました。子どもは自分で成長しようとする力を持っています。子どもは遊びの中からたくさんのことを学びます。子どもは自らやってみたい、挑戦したいという気持ちを持っています。そんな気持ちに応じることのできる生活環境を整え、子どもたち自身が満足する毎日を主体的に生活できるように応援していきたいと思えます。

今年度は乳児クラスにもモンテッソーリ教育環境の保育室を少しずつ準備する予定です。そこで子どもたちが自由に思う存分に自分の興味を持ったことに挑戦し、「できた!」という達成感をたくさん味わい子どもたちが生き生きと過ごせるようにします。

今年度の重点的な取り組み

- ① イマージョン教育の強化とモンテッソーリ教育の拡充
- ② 安心、安全かつ衛生的な保育環境の整備
- ③ 教員研修の充実
- ④ 多角的な広報活動による園児募集活動の強化

御影インターナショナルこども園 園長 澤井 育子

I. 教育・研究の推進について

1. 保育教育環境の整備、危機管理に関する目標

質の高い保育を行う認可外保育施設として、認可施設と遜色のない安全・安心かつ衛生的な保育教育環境を提供する。

中期計画	事業計画
<p>【1】夏の暑さ対策に関する計画 夏季の酷暑の中でも、プール遊びなど園庭での遊びを安全に楽しく実施できる環境に改善するため、2022年度に、園庭に遮光ネットを設置する。</p>	<p>実施済</p>
<p>【2】アレルギー対策に関する計画 衛生環境を改善するため、アレルギーの要因にもなる各教室・ホール床のタイルカーペットを、フローリングに改修する。併せて給食委託業者と協議して、アレルギー対応の食事の改善と、保育士への指導を実施する。</p>	<p>①フローリング化工事について、1階ホールを実施する。 ②アレルギー対応の食事改善については、令和6年度より給食委託業者が変更になるため、新しい管理栄養士と改善計画案を再作成し、給食会議や職員研修を通じて指導を実施する。</p>

II. 園児の支援について

1. MIK教育プログラムの充実に関する中期目標

MIKプログラムを実施してこどもの可能性を広げる教育を行うこども園を目指していたが、他園との差別化を図るため世界中で周知され行われている「モンテッソーリ教育プログラム」に移行する。

中期計画	事業計画
<p>【3】外部講師を招聘した教室の点検、評価に関する計画 絵画造形、体育あそび、ダンス[新設]、論語の各教室の自己点検・評価を行い、その結果に基づき開講教室、内容を再編する。</p>	<p>○外部講師の意見も聞いて、各教室の自己点検・評価を継続して行う。 ①楽器遊び、リトミックは、クラス担任が日常の保育プログラムの中で指導するが、乳児についてはリトミックの専門性を持つ保育士が日常的に実施する。 ②2023年度途中から開始した外部のダンス講師によるダンスは園児にも人気があり、成果を発表会などで披露できるよう引き続き実施する。</p>
<p>【4】楽しいPC・プログラミングのお稽古開設に関する計画 岡山理科大学ブランドを活かした楽しいPC・プログラミングのお稽古の2025年度開設を目指す。保護者のニーズ調査等により、時代と保護者のニーズを見極め、対象年齢、指導者、環境整備、プログラミング能力の到達度の設定など、具体的な構想案を策定する。</p>	<p>○コドモンのオプション機能であるアンケート機能を利用し、毎年、上期、下期の年に2回保護者ニーズを調査する。 ①岡山理科大学の恐竜学博物館提供のペーパークラフトを園児に配布する。 ②岡山理科大に協力を依頼し、園児に人気のある恐竜について園児だけではなく地域の小学生も対象にしたイベントを開催する。</p>

中期計画	事業計画
<p>【4-2】モンテッソーリ教育の導入に関する計画</p> <p>こどもの可能性を広げる保育教育として、新たにモンテッソーリ教育を2024年度から正式に導入する。子どもにはモンテッソーリ環境を用意し、多様性のある子ども社会の準備を行う。</p>	<p>○2024年度は3歳児、4歳児も対象とし、また乳児（1，2歳）用のモンテッソーリ環境を徐々に整え、全体的に拡充していく。</p> <p>○幼児クラスは、モンテッソーリクラスの保育室を広げ、3歳から5歳までが自由に利用できるように教具なども充実させる。</p> <p>○2024年度については、年齢別による横割りクラスのほか縦割り（異年齢）クラスで過ごす時間帯を増やし、異年齢交流を促進する。</p>

2. 質向上によるブランド力強化に関する中期目標

入園先の選択において重要となる保育士の教育力・保育力を積極的な研修制度により向上させるとともに、英語イメージプログラムとの価値向上により、こども園のブランド力向上を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【5】保育士研修の充実に関する計画</p> <p>①園内研修、外部研修への参加義務を課す。 ②保育士、幼稚園教諭のW取得を推奨する。 ③自己研鑽への支援制度の創設を3年以内に整備する。</p>	<p>①2024年度はすでに利用している保育施設向けITサービス「コドモン」の提供するコドモンカレッジの研修動画を最大限活用し、保育士や園長向けの講座を受講することで全員に園内研修を実施する。</p> <p>②資格未取得の職員に対して積極的に資格取得を促す。</p> <p>③子育て支援員研修やその他幅広い分野の研修を受講できるよう制度を2024年度中に整える。</p>
<p>【6】英語イメージプログラムにかかる保護者ニーズ調査に関する計画</p> <p>保護者の満足度、ニーズを調査する。</p>	<p>○新規に2名の外国人を採用し4月からイメージ教育の強化を図る。年度途中にその効果などを確認するためコドモンのアンケート機能を活用した満足度調査を実施し、保護者の満足度、ニーズを調査する。</p>
<p>【7】外国人教員の活性化に関する計画</p> <p>外国人教員の園内研修強化、外部研修への参加、モデル校視察等で明確な目標設定を行う。</p>	<p>○イメージ教育のMIKスタイルを確立するため外国人教員の能力向上を目指し、2024年度用に準備しているイメージディレクターによる新プログラムについて園内での研修を定期的実施。さらに外部の研修への積極的な参加等も促し、今後に向けての目標案を作成する。</p>
<p>【8】イメージプログラムの改定に関する計画</p> <p>2023年度を目途に目標の再設定、保育士(日本人)とのコラボ案を策定する。</p>	<p>○新しいイメージプログラムを4月から開始するので達成目標を再設定し、年度末には達成度を評価する。</p> <p>○2024年度は外部講師によるダンスやアートなどの活動を極力午後実施し、午前中に少しでも長く英語に触れる機会を増やすため2～3ブロック（1ブロック30～45分）のレッスンを用意し、午前中は日本人保育士も英語で話すようにする。</p>

Ⅲ. 国際化の推進について

1. 質向上によるブランド力強化に関する中期目標《再掲》

→ 英語イメージンプログラムブラッシュアップに関する中期目標

英語イメージンプログラムの価値向上により、こども園選択の際の差別化要素まで引き上げる。

中期計画	事業計画
<p>【6】英語イメージンプログラムにかかる保護者ニーズ調査に関する計画《再掲》 保護者の満足度、ニーズを調査する。</p>	<p>○新規に2名の外国人を採用し、4月からイメージン教育の強化を図る。年度途中にその効果などを確認するため園児管理ソフトのコードモンのアンケート機能を活用した満足度調査を実施し、保護者の満足度、ニーズを調査する。</p>
<p>【7】外国人教員の活性化に関する計画《再掲》 外国人教員の園内研修強化、外部研修への参加、モデル校視察等で明確な目標設定を行う。</p>	<p>○イメージン教育の MIK スタイルを確立するため外国人教員の能力向上を目指し、2024 年度用に準備しているイメージンディレクターによる新プログラムについて園内での研修を定期的実施。さらに外部の研修への積極的な参加等も促し、今後に向けての目標案を作成する。</p>
<p>【8】イメージンプログラムの改定に関する計画《再掲》 2023 年度を目途に目標の再設定、保育士(日本人)とのコラボ案を策定する。</p>	<p>○新しいイメージンプログラムを4月から開始するので達成目標を再設定し、年度末には達成度を評価する。 ○2024 年度は外部講師によるダンスやアートなどの活動を極力午後に実施し、午前中に少しでも長く英語に触れる機会を増やすため2～3ブロック（1ブロック 30～45分）のレッスンを用意し、午前中は日本人保育士も英語で話すようにする。</p>

Ⅳ. DXの推進について

1. 業務の効率化に関する中期目標

業務の効率化を図ることで事務処理の省力化を図り、事務職員が働きやすい環境を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【9】WEB請求への切り替えに関する計画 2023 年度から保育料等の各種支払い請求をWEB化する。紙による請求を原則禁止し、封入作業等の労力、時間削減を図る。</p>	<p>○WEB請求への切り替えについては園児管理ソフトのコードモンのオプション機能を活用して電子請求書を発行し配信することで、保育料請求業務を簡素化していく。 ○連絡帳を廃止し、コードモンのドキュメンテーション機能を活用。配信による保護者との情報共有を推進し保育士による事務処理も省力化する。</p>

V. ガバナンス体制と内部質保証システムについて

1. 御影インターナショナルこども園の新展開の方向性に関する中期目標

園の形態を変えることで公的助成を受けられる組織に改変し、安定した財政基盤の確立を目指す。

達成が困難と判断した場合は、存在感があり、募集力の安定した認可外こども園を目指す。

中期計画	事業計画
【10】神戸市、有識者等への意見聴取に関する計画 2022年度中に、財政基盤の確立の観点からメリット・デメリットを洗い出す。	実施済
【10-2】御影小規模保育ルームに関する計画 認可施設「御影小規模保育ルーム」事業の継続の可否を検討する。	実施済
【11】新展開実現へのプロセス決定に関する計画 2024年度を目途に、具体的な計画を策定する。	○こども園の新たな方向性として、イマージョン教育とモンテッソーリ教育を園の特徴の2本柱とすることを最大の目標とし、イマージョン教育については内容を強化しMIKスタイルを確立、モンテッソーリ教育については対象を乳児にも広げ段階的に充実を図る。
【12】学童保育の再開など新規事業のニーズ調査に関する計画 ①関係機関、関係者へのヒアリングを実施する。 ②2024年度を目途に、具体的な計画を策定する。	○小規模保育ルーム廃止に伴い、こども園の園舎を利用した新規ニーズを調査する。 ①保護者に週末や休園日を利用した希望する課外活動、講演などについてアンケートを実施する。 ②上記のアンケート結果に基づき、実施可能な活動については講師や活動内容等の情報を収集し、2025年度から実施可能な活動があれば具体案を2024年度中にまとめる。

2. 質保証に関する中期目標

将来、スタッフが変わっても、園の運営と保育力を担保し、質保証できる組織を目指す。

中期計画	事業計画
【13】基本データの整理に関する目標 ①2024年度を目途に、散逸しかねない各種データを集約、整理し、10年史[データ編]を製作する。 ②溜まる一方の文書の管理(保管/電子化、廃棄)を行う。	○文書だけでなく電子データについても整理する。 ①10年史についてはHP内で園の過去10年のイベント等の様子を掲載し、園の歴史を紹介する。 ②保存年限を過ぎた文書を処分し、サーバー内の電子データについても整理する。

3. 安定した財政基盤の構築に関する中期目標

少子化の中においても、安定した運営ができる組織を目指す。

中期計画	事業計画
<p>【14】 収支改善に関する計画</p> <p>①段階的に定員確保を達成する。</p> <p>②収支バランスの適正化を図るため、保育料収入の増加策と人件費抑制策を実行する。</p>	<p>①園児獲得のために広報活動を強化すると同時に、定員の見直しについても検討する。</p> <p>②保育料値上げや施設設備費の追加徴収を実施し、幼児クラスは専門性の高い専任の外国人を採用し、乳児クラスはパート職員も活用して園児数に応じた人員を配置する。</p>
<p>【10-2】 御影小規模保育ルームに関する計画</p> <p>《再掲》</p> <p>認可施設「御影小規模保育ルーム」事業の継続の可否を検討する。</p>	<p>実施済</p>
<p>【15】 園児募集活動の強化に関する計画</p> <p>①インターネットを活用した広報活動の展開</p> <p>②ホームページのリニューアル</p> <p>③広報刊行物の見直し</p>	<p>○2023年度に展開した折り込み広告や駅の看板広告、折込チラシ、ポスティング、Web 広告等による広報活動の中で、特に効果が認められたホームページと連動したインターネット上の広告について2024年度は頻度を高め、対象エリアを拡大し、効果的なタイミングで継続実施していく。</p> <p>①園庭開放や見学会等、行事に連動した Web 広告の回数を増やす。</p> <p>②乳児へのモンテッソーリ教育を開始するためホームページの一部をリニューアルし、最新の園の様子を紹介できるよう毎月更新する。</p> <p>③刊行物ではなくデジタルパンフレットや2023年度途中から開始したインスタグラムも活用し園児の生き生きとした表情や明るく広い園庭の良さをアピールする。</p>

主な行事予定

主な行事予定	
4月	入園の会 進級式 こいのぼり揚げ クラス懇談
5月	春の遠足
6月	スポーツデー
7月	水遊び お泊り保育
8月	入園説明会
9月	入園申込・選考
10月	ハロウィンパーティー
11月	消防訓練 七五三詣り 秋の遠足
12月	みんなの発表会(幼児/こども園) クリスマス会
1月	初詣 交通安全教室
2月	豆まき
3月	お別れ会・お別れ遠足 卒園式

児童・教職員数

■在籍児童数（5月1日現在）

御影インターナショナルこども園

クラス名	収容定員	在籍児童数
1歳児	12	9
2歳児	18	12
3歳児	30	18
4歳児	30	13
5歳児	30	16
合計	120	68

■教職員数

園長	副園長	英語 教員	保育士	事務 職員	計
1	0	5	6	2	14

(注) 保育士には子育て支援員1人を含む。